

子どもたちの夢と未来を守る

全ての年代において、性の多様性に関する肯定的な情報と安心できる環境が必要です。

多様な存在やちがいを尊重できる関係づくりと、自尊感情を育む教育と環境づくりを進めましょう。

- ・性別や性的指向を決めつけない
- ・思い込みや決めつけで、性別や恋愛のことを話さない
- ・あなたのまわりにマイノリティの人たちがいる前提で考え、行動しよう

安心して地域で暮らす

地域にはさまざまな人たちが暮らしています。ちがいや困りごとさまざまです。

誰かの生きづらさが解決されたなら、きっと、誰にとっても暮らしやすいまちになります。

- ・分からなくても否定しない
- ・家族のかたちもさまざま
- ・どうして欲しいのか、その人に聞いてみよう
- ・本人の許可なく、個人情報を他人に絶対話さない【アウトティングの禁止】

安心して働ける職場

自分の思う性別や姿で、自分らしく働き、同性パートナーが「家族」として対応されることが必要です。マイノリティであることが、機会や選択を狭くすることのない職場づくりを進めましょう。

- ・制服や服装など、選択肢を増やそう
- ・偏見や差別的な発言には「それはおかしいよ」と伝えよう
- ・ハラスメントを防止しよう
- ・多様性や人権について学ぶ機会を作ろう

最期まで自分らしく

医療や介護が必要な時、緊急時や人生の終盤に、自分らしさや尊厳が守られること、その人の「家族」が尊重されることは、大切な権利です。

全ての人々が安心して人生を送れるよう、社会のしくみやルールの見直しを進めましょう。

- ・さまざまなニーズに対応できる医療や福祉などのあり方を考えよう
- ・不便や困りごとを解決しよう
- ・ニュースや社会の動きに注目しよう

私たちは、誰もが自分らしく生きることを願っています。これまでの「あたりまえ」「ふつう」をみんなで見直して、全ての人々が、自分のことを自分で決めて、いきいきと暮らすことのできる社会、お互いの生き方を尊重しあえる社会を、創っていきましょう。

奈良県では、市町村、関係機関・団体が協力して、毎月11日は「人権を確かめあう日」の取り組みを進めています。

「人は等しい」を合い言葉に、一人ひとりが人権について考え、ともに行動しようと呼びかけています。

みんなで力をあわせ、「人権のまちづくり」を進めましょう。

協力 性と生を考える会（奈良）

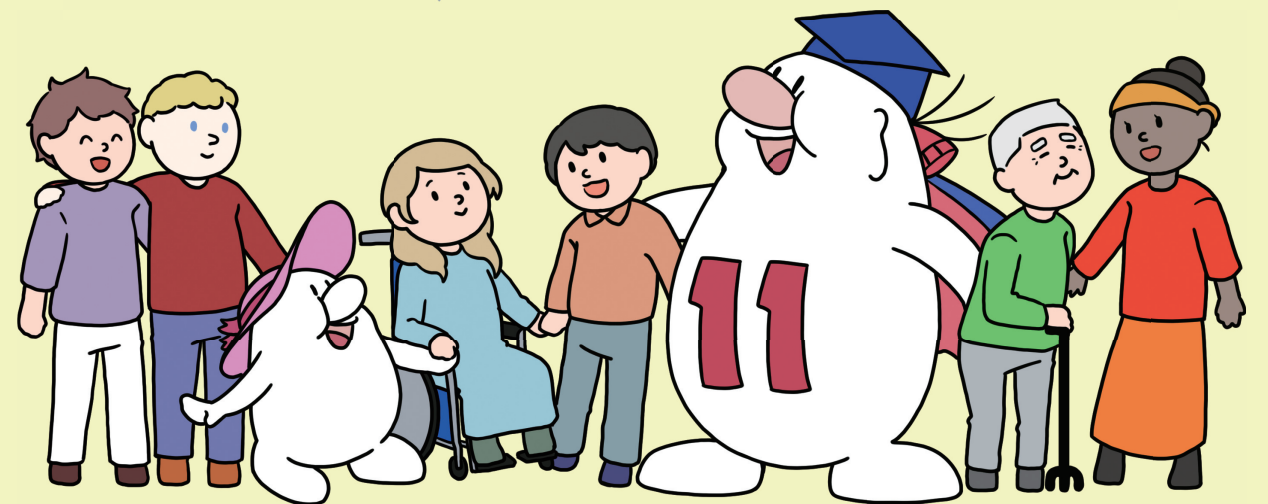
人権相談

- 各市町村の相談窓口
- 奈良地方務局 人権擁護課 **tel** 0742-23-5457
- なら人権相談ネットワーク事務局（奈良県文化・教育・くらし創造部人権施策課） **tel** 0742-27-8726 **fax** 0742-27-8721
- 奈良県市町村人権・同和問題啓発活動推進本部連絡協議会 **tel** 0744-22-9611 **fax** 0744-22-9711

みんなが自分らしく 生きるために

「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」(2023年6月)ができました

誰もが多様な一人です
みんなで一緒に考えてみましょう



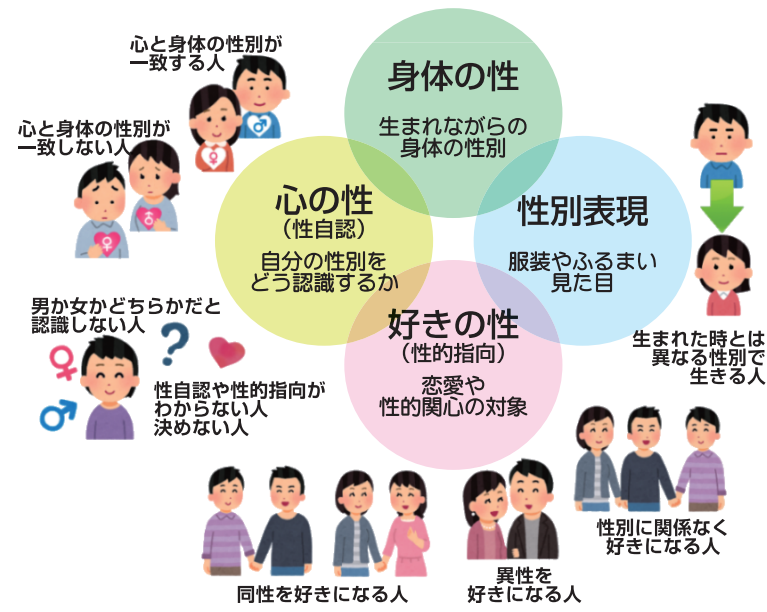
性のありようは多様でグラデーション

これまでの社会は、「身体と心の性別は同じ」で、「好きになるのは異性」を、「あたりまえ」「ふつう」としてきました。性別で「らしさ」を決めつけることもありましたが、でも、その「あたりまえ」「ふつう」は、本当にそうでしょうか？

人は生まれもった身体の性別と、心の性別（ジェンダーアイデンティティ）や、見た目の性別が一致しているとは限りません。恋愛や性的関心の対象（性的指向）が異性だけとは限りません。性はさまざまな要素の組み合わせであり、自分らしいと思う性のありようは、人それぞれで多様なのです。

社会には、性のあり方が多くの人とは異なっている、「性的マイノリティ（少数者）」、「LGBTQ」などといわれる人たちがたくさん暮らしています。性的マイノリティの多くは、「理解してもらえない」「差別されるかも」という不安から、自分のことを学校や職場、友人や家族にも言えずにいます。苦しい思いの中で、生きづらさに直面している人もたくさんいます。

マイノリティであるかどうかにかかわらず、自分が思う性別や姿で暮らし、好きな相手と生きることは、人が生きる上で大切な人権です。全ての人が自分らしく生きることができるよう、一緒に考えてみましょう。



L	レズビアン	同性を好きになる女性
G	ゲイ	同性を好きになる男性
B	バイセクシュアル	性別に関係なく好きになる人
T	トランスジェンダー	生まれた時とは異なる性別で生きる人
Q	クエスチョニング	わからない人・決めない人
X	エックスジェンダー	男か女かどちらかだと認識しない人
A	アセクシャル	性愛の対象がない人

SOGI

性的指向 (Sexual Orientation) と性自認・心の性別 (Gender Identity) の頭文字をとって「SOGI (ソジ、ソギ)」と表現します。性別表現 (Gender Expression) を加えて「SOGIE (ソジー)」とも表します。性のあり方は、性的マイノリティの人も、そうでない人も、全ての人にかかわることです。

女性も 男性も 家族も 「らしさ」も 多様です

「女性」「男性」もさまざまで、その中には性的マイノリティの人たちもいます。同性や両性が好きな女性・男性、生まれた時とは異なる性別で生きる女性・男性など、さまざまな女性・男性がいます。「女らしさ」「男らしさ」にとらわれず、その人らしさを尊重しましょう。「家族」のかたちもさまざまで、どれも大切な家族です。



誰かの生きづらさになっている「あたりまえ」「ふつう」「ルール」を変えよう

性的マイノリティの声から

異性愛が前提で感じる苦痛や不便

L G B

- ・結婚は？彼女は？彼は？と聞かれるのがつらい
- ・恋愛話がしんどい
- ・異性愛前提で話をされ、存在を否定されたように感じる
- ・隠すために異性愛者のフリをするのが苦痛
- ・同性パートナーが「家族」としてあつかわれない
- ・子どもが欲しいが、自分に家族がもてるのか？



自己否定や葛藤、将来への不安、いじめ被害

- ・ホモ、レズ、オカマ、気持ち悪い、キモイと言われた
- ・テレビで笑いものになっているのを見て傷つく
- ・先生に「男らしくしなさい」と言われた
- ・学校で「オカマ」といじめられてひきこもりに
- ・家族には負担をかけそうと言えない
- ・地元では言えない
- ・本当の自分をずっと隠している
- ・友だちに本当のことを言えず、ずっとウソをついている気分
- ・将来に希望が持てない
- ・情報やロールモデルがない

身体の性別に合わせる苦痛や不便

T

- ・自分の思う性別で働くことができない、生活できない
- ・トイレが困る 安心して使える場所がない
- ・修学旅行の風呂、着替えなど身体を見られるのが嫌だ
- ・身体の性別で男女分けされ、制服、水着などを自分の思う性別で選ぶことができない
- ・性別欄を見て、本人かどうか疑われる



性的マイノリティの人たちが直面する課題

- ①自己否定、自尊感情の低下
- ②自分らしく暮らせない
- ③将来への不安、希望がない
- ④孤立・孤独
- ⑤偏見・いじめ・暴力被害
- ⑥生活上の不便や不利益

いじめられて不登校になったり自殺を考える人もいます

大切なこと

肯定的なメッセージや発言、行動をしよう

性的マイノリティが存在していることを前提で考え、肯定的な発言や行動をしよう。「ホモ、レズ、オカマ」などは差別的に使われる言葉です。偏見や差別的な発言には、「それはおかしいよ」と伝えよう。

カミングアウトされたら

カミングアウトとは、自身の性自認、性的指向について他の人にうちあけることです。うちあけられたら肯定的に受け止め、どうして欲しいのか、直接、本人に聞いてみましょう。本人の許可なく別の人に話してはいけません！

アウティングは絶対にしない！

アウティングとは、性的マイノリティであるなどの個人情報を、本人の許可なく別の人に話すことで、重大な人権侵害です。いのちを奪うこともあり、絶対にしてはいけません！

